

平安時代もあわりに近い
承安三(一一七三)年、
親鸞さまは、京都のまちから
すこしはなれた、日野の里で
お生まれになりました。



そのころ、世のなかは
大きくかわろうとしていました。
源氏や平氏の

武士のあらそいはたえず、
大雨や大風、大火
じしんやききんがつづき、
さらにえき病が
はやっていました。
たくさんの人びとが
苦しみ、たおれ、
まいにちを不安なこころで
くらしていました。

